

# 2023年9月及び年度上期(4-9月期)のアルミニウム圧延品の生産・出荷動向について

2023年10月27日発表



## 1. 2023年9月のアルミニウム圧延品の生産・出荷概況

◆ 概況：  
 ・板： 生産・出荷ともにマイナス。「自動車」はプラスだったが、それ以外の主要分野がマイナスだった。  
 ・押出： 生産・出荷ともにマイナス。「自動車」はプラスだったが、「建設」は住宅着工の減少や工期の遅れなどによりマイナスとなった。  
 ・はく： 生産・出荷ともにマイナス。主要分野である「電気機器」「食料品」の減少が継続している。

- ・ 板類（主な分野のコメント） \*数字は出荷量、カッコ内は前年同月比
- (1) 缶材 31,854トン (▲ 1.5%)：DI缶は10月の酒税法改正前の駆け込み需要によりプラス、ボトル缶は商品値上げによる消費抑制が働きマイナスとなった。
- (2) 自動車 18,832トン (▲ 18.3%)：自動車生産台数の回復に加え、軽量化ニーズによる車体用パネル材の採用増があり、二桁増となった。

2023年8月の国内四輪車生産台数：639,383台（前年同月比+9.4%）

- ・ 押出類（主な分野のコメント） \*数字は出荷量、カッコ内は前年同月比
- (1) 建設 32,042トン (▲ 8.6%)：資材の高騰や、人手不足による工期の遅れなどにより住宅着工戸数は減少が継続しマイナスとなった。
- 2023年8月の住宅着工戸数：70,399戸（前年同月比▲9.4%）
- (2) 自動車 12,061トン (▲ 13.6%)：板同様自動車生産台数の回復によりプラス。

- ・ はく（主な分野のコメント） \*数字は出荷量、カッコ内は前年同月比
- (1) 電気機械器具 4,215トン (▲ 16.3%)：LIBは車載用は生産が回復しているが、スマホなどの民生用は需要の低迷が続いている。  
 （コンデンサ：▲5.4%、リチウムイオン電池：▲20.3%）
- (2) 食料品 1,784トン (▲ 13.6%)：物価上昇などにより消費抑制が働き嗜好品は購買意欲が低下、マイナスとなった。

◎2023年9月実績 生産および出荷(前年同月比、▲はマイナス)

	生産(トン)	前年同月比(%)	コメント		出荷(トン)	前年同月比(%)	コメント
板類	85,529	▲ 8.6	17ヶ月連続でマイナス	板類	83,501	▲ 8.0	18ヶ月連続でマイナス
押出類	55,374	▲ 1.8	21ヶ月連続でマイナス	押出類	56,351	▲ 1.7	19ヶ月連続でマイナス
板押計	140,903	▲ 6.0	18ヶ月連続でマイナス	板押計	139,852	▲ 5.6	19ヶ月連続でマイナス
はく	8,234	▲ 10.9	19ヶ月連続でマイナス	はく	8,130	▲ 11.9	4ヵ月連続でマイナス

## 2. 2023年度上期（4-9月期）のアルミニウム圧延品の生産・出荷概況

（前年度比(%)、▲はマイナス）

	生産（トン）	前年度比(%)	コメント		出荷（トン）	前年度比(%)	コメント
板類	519,024	▲ 10.3	2年連続でマイナス	板類	518,300	▲ 9.6	2年連続でマイナス
押出類	321,516	▲ 3.7	2年連続でマイナス	押出類	327,569	▲ 3.6	2年連続でマイナス
板押計	840,540	▲ 7.9	2年連続でマイナス	板押計	845,869	▲ 7.4	2年連続でマイナス
はく	48,982	▲ 9.0	2年連続でマイナス	はく	49,057	▲ 9.3	2年連続でマイナス

### ◆ 概況

2023年度上期の圧延品は、生産、出荷ともに2年連続でマイナスとなった。（生産▲7.9%、出荷：▲7.4%）

板は「自動車」は好調だったものの、それ以外の主要分野が減少した。世界的なインフレや金利上昇、エネルギー価格の高騰や政情不安など、複数要因により「一般機械器具」や半導体製造装置向け厚板などの卸・小売りを含む「その他」が大幅にマイナス、輸出も減少した。

押出は板同様「自動車」はプラスだったが、最大構成である「建設」向けが資材の高騰や作業員不足などにより工期が伸びたり、着工戸数が減少するなどしマイナスとなった。

箔は主要分野である「食料品」「電気機械」の低迷が継続している。

### ◆ 主な分野のコメント： \*数字は出荷量、カッコ内は前年同期比

#### 板類

- (1) 缶材 198,509トン（ ▲ 3.7% ）： 外出機会の増加により家飲み需要は減少、物価高による節約志向の高まりもあり、前年比マイナスとなった。
- (2) 自動車 99,979トン（ ▲ 19.4% ）： 半導体不足や部品供給遅延が徐々に解消され自動車生産台数が回復、車体用パネル材の採用増もあり、二桁増となった。

#### 押出類

- (1) 建設 186,760トン（ ▲ 9.8% ）： 資材高騰や作業員不足による工期の遅れ、住宅着工戸数の減少、一戸あたりのアルミ使用量の減少などによりマイナス。
- (2) 自動車 67,115トン（ ▲ 18.6% ）： 板同様、国内自動車生産台数の回復を受けてプラスとなった。特にトラック向けは+42.8%と好調だった。

#### はく

- (1) 電機機械器具 25,551トン（ ▲ 10.8% ）： 車載用は自動車生産台数の増加に伴い回復基調だが、民生用はスマホの市場規模縮小、コロナ禍での各種非接触型端末やリモート用のPCなどの特需の終了などにより減少した。
- (2) 食料品 10,682トン（ ▲ 8.2% ）： 物価の高騰から節約志向が高まり、菓子類などの嗜好品は買い控えが発生、商品価格を抑えるために包材を海外品に切り替えるなどの動きもみられ、「食料品」向けは減少した。